阿知須町広報

阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　中尾　岩雄
編集人　土本　源一

印刷所
宇部新聞印刷所
宇部市東区五反田通
電話1725番

あちす湯の町・湯の香にひらく

本格的に諸施設に着工

本町湯の河内の地下に眠る天然の宝庫ラジウム鉱泉は、過去六カ年にわたり斯界の科学者達の手による調査の結果は、薬効、湯量共に世界第一位に列び称せられ、愈々本年度これが本格的な施設着手に乗り出し、去る八月十日午前九時現地に関係者多数参列のもと、炎天下に厳粛な起工式がとり行われた。

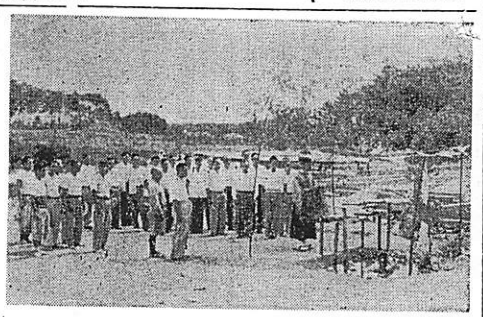
第一期計画として本年十月末日に完成の見込で漸次これの増設を計画中で、働く者の憩の場とし、外客誘致の施設として期待出来るものと一般から嘱望されている。

この温泉地帯附近は風光明眉の名声高き、万年池周辺、更に壮観比絶の江畑池等の緑化遊園地も三年前から、桜、紅葉、柳等数万本が植栽され、尚一層の彩光美を添え、これらの景勝を結ぶ観光コース並びに温泉道路の拡張も計画され目ならずして一大温泉郷の出現も間近い。

今年東に湯水谷観光地、西に温泉緑化遊覧地、産物は名産日の山西瓜に山口沢麓等、山と海の幸に恵まれた本町は、遠く観光客から広く親しまれて、観光阿知須町の名声は各地の話題に花が咲いている。

基本選挙人の登録は九月十七日までに区長へ

基本選挙人名簿登録資格調査表の裏面に記入要領が書いてありますからよく御覧になって、該当される方は九月十七日までに区長まで提出して下さい。



公衆電話の開設お知らせ

一般の御便利を図り、誰れにでも気兼ねなく使っていただける、公衆公衆電話が左記の場所に開設されましたから、精々御利用下さい。

記

一、阿知須駅構内売店　二二一番　料金は　町内　拾円
一、殿村薬局（中村区）一三五番　市外　通話料相当額

九月の〃こよみ〃

▲九月の雅名は？…長月、木犀月、寝覚月、夜長月などと申しますが支那では〃秋〃とよんでいますがこれは陰暦のこと。

▲白露とは一年二十四節気の一つです。今年は九月八日にあたります。野草に宿る白つゆの光りも、きらきらと冴えまさる秋の閑門。白玉の露にしみとおる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけるテナわけで酒のアジも一入こまやかになろうという時です。宿酔と交通事故に御注意のこと。

▲秋分とは太陽の黄経が一八〇度に達した時です。すなわち秋のお彼岸の中日のことです。ことしは何んとその日が日曜日、折角の祭日がねえ！昼夜の長さが同じである秋分を境として「秋の夜長」が初ります。〃歴史と手供は夜つくられる〃そうですから、なにとぞ日本民族のためバースコントロールを御励行下さい。

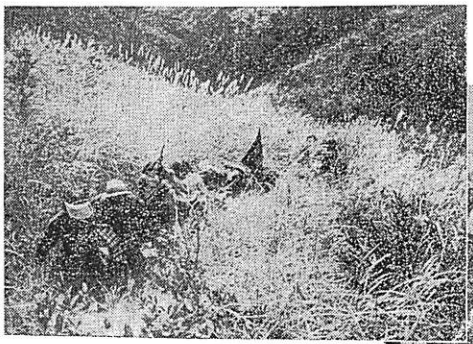
▲二百十日とは一立春から数えて二百十日です。たいてい新暦九月一日にあたっています。この頃になると南洋方面にもの凄い低気圧が発生して、ヒス的台風が日本列島を襲撃することが多い、時恰も稲作の繁忙期なので昔から厳重の大厄日として恐れられているわけです。

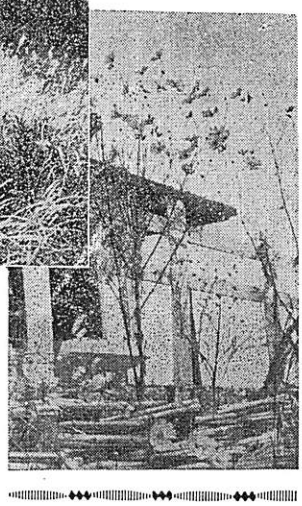
二百十日もことなくすぎて村の鎮守に太鼓がひびくという唱歌がありましたが、ことしもどうか豊作でありますよう、カミやホトケに祈ろうではありませんか。

▲関東大震災記念日―大正十二年九月一日午前十一時五十八分四十四秒六、というきわどい時間に突如巻き起った空前の大地震、正午の昼食時間スレスレだったからで余方戸を出したのです。死傷者二十万と焼失家屋四十災害は忘れた頃にやってくる、風水害と共に御用心に御慎心。

【㊋起工式㊌第一期計画の平面図】
①本館　②公衆浴場　③事務室、炊事場　④倉庫　⑤機関室　⑥別館

秋しのびよる





暑さと汗に苦しんだ夏も、台風一過と共に、爽やかな秋が身近におとずれてきた。青く澄みきった空、紫紅色の山野、ともにのびのびと甦る気がする。九月の夜や桔梗に萩、りんどう、女郎花等秋の草花は何れも忘れがたい抒情をもつているが、なかでもコスモスの可憐さは、秋にもつともふさわしいものと言えよう。今年も澄みきった空の見える季節となり、私共にとつて捨てることのできない風習に仲秋の名月がある

㊤　銀色に形るススキの原をゆくハイカー達

㊦　コスモス咲いて秋深みゆく

県政だより

◎県下の幹線道路国道と県道は約三千粁でいずれも県が管理しています。

◎そしてこのうち、低級道路はわずかに二百五十粁で一割にも満たない有様です。またこれ等の中には道巾三・六米以下のせまいところが約千四百二十二粁もあるのです。

◎そこで県では、道路路盤五カ年計画をたてて二十九年から、これらの道路の改良補装補修を実施してきています。

◎この計画によりますと、道路の改良六十粁、補装新設四十二粁、補装、補修三十九粁木橋の永久橋への架替五十八橋を三十三年度までに完成させることにしています。

国、県道の改良補修は進む

◎二十九、三十の二年間には六億九千三百万円の経費を投入して改良十七粁、補装新設十五・二粁、補装補修九・二粁、橋のかけ替え十一橋の工事を行いました。

◎ことで今年度に皆さまの町内では次の工事を行う予定です。

阿知須町舗装補修山口―埴生二六〇米

◎県では、このようにして苦しい財政の下においても道路の整備はできるだけの努力をしています。まだ財政再建に乗り出しても、この計画を停止したり、大巾に削除したりすることは考えていません。

（山口県民室）

音楽好きな方へ

阿知須音楽同好会の第八回レコードコンサートは九月八日（土曜日）午後八時から町公民館で行われる。曲目は次のとおり。

（一）交響曲第四十一番…ハ長調K五五一「ジュピター」モツアルト曲　ウイリアム、スティンバーグ指揮　ピッツバーク交響楽団（キヤピトルレコードLZA―一〇一六）

（二）フルート協奏曲…ト長調K三一三　モツアルト曲　ガストーネ、タッシナーリ（アルト）　ベルンハルト、バウルガルナー指揮　ザルツブルグ、モツアルト、アカデミー合奏団（グラモフオンレコードLG―二一九）

（セレナーデ…モツアルト曲）

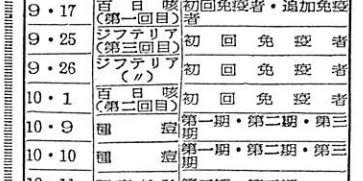
ト長調　フルドベングラー指揮　ウインフイルハーモニー管絃楽団

9、10月の幼児衛生メモ

完施月日	接種目	接種該当者
9月3日	ジフテリア（第一回目）	初回免疫者（第二期）追加免疫者（第三期）
9・4	ジフテリア（〃）	初回免疫者（第二期）追加免疫者（第三期）
9・13	ジフテリア（第二回目）	初回免疫者
9・14	ジフテリア（〃）	初回免疫者
9・17	百日咳（第一回目）	初回免疫者・追加免疫者
9・25	ジフテリア（第三回目）	初回免疫者
9・26	ジフテリア（〃）	初回免疫者
10・1	百日咳（第二回目）	初回免疫者
10・9	種痘	第一期・第二期・第三期
10・10	種痘	第一期・第二期・第三期
10・11	種痘検診	第二期・第三期
10・12	種痘検診	第二期・第三期
10・15	百日咳（第三回目）	初回免疫者
10・18	種痘検診	第一期
10・19	種痘検診	第一期

会場、その他については別途通知致します。

▲重陽節とは？　九月九日の〃菊の節句〃のことです、九は若陽の数といわれ、これを重ねて重陽節この日は菊の花を酒にひたして飲み、栗飯をたべて若長寿を祝つたり願つたりするのがならわしです。この日は、彼女があなたの言うことを「菊の日」でもありますように…



告知板

阿体協楽道部では九月一日から篝遇火、土曜日午後八時より、町職会場で練習を致します。

来る十一月町内楽道大会にそなえて今から充分練りたいと存じますから希望者は御参加下さい

阿体協楽道部長

各位

◇…出生の部

父	続柄	出生児	部落
東重兼之	長女	みゆき	寺河内
北野　弘	二男	明	旦北
中本満春	長女	満枝	岩前
辻下久人	二女	弘美	岩辻
小野勝久	二男	泰男	野口
徳永幸一	二女	夏美	岩上
山田正雄	長男	伸吾	小南
西村　豊	長女	和子	細南
安永倶治	二男	行信	小南
芥川文蔵	長男	和利	引野
高田和男	長女	久美	砂三
早瀬定雨	長男	義貢	船石
三浦久一	長男	幸輝	浜
今井三郎	二男	正人	東
藤沢武人	二女	真理子	船石
松本　俊	長女	くみ子	旦北
上野辰夫	長男	毅	岩辻

◇…婚姻の部

夫	曽金	明二	西条
妻	浜田	貞子	宇部市
夫	松崎	昌一	嘉浜
妻	落合	静子	嘉川表
夫	髭永	修	嘉川
妻	上村	節子	三川
夫	竹本	武	中村
妻	米永タカコ		南村

◇…死亡の部

	死亡者	死亡月日	年令	部落
辻村定市	8月1日	83	河内
杉村郁子	8月3日	1	小東
細田鉦識	8月8日	60	細南
岡原松二	8月19日	67	杖川
須原タカ	8月20日	45	岡

八月二十六日ゞ切

▼七月には、いたいたしい水の難儀があつた。それが八月には起らずに済んだ。誰もがホッとしたとりわけ炎天の毎日を町観光協展の名の下に海岸に通勤出動された商工会の世話人の方々の喜びは殊の外深かつたものと思う。御苦労様。

▼ところで八月九月の台風には困つたものだ。年中行事の如く襲つて来る。八月十六日の夜、風が出て雨が激しくなつた。停電。暗闇の中、ラヂオはぷつつりとぎれ吹きすさぶ暴風雨の中では寝つけない。目が冴える。不安であつたところへ闇を裂くような大スピーカーの声。広報車の出動。ギシギシガラス窓の鍵をねぢて戸外をのぞくと。広報車に後続して消防車の無言の警戒陣。暗い心に明るい灯が射し込んだ感じだつた。御苦労様。

▼町の沖合で嵐の夜沈没した船があつた。愛媛県の保子さん遭四人が乗つていた相害丸。乗組員は三ケ所の海岸で救いあげられた。救命袋をつけて漂流したのが命の綱となつたわけ。それにしても相害丸に無線ラジオがあつたら船は沈没しなかつたろうし、積荷も安全であつたろう。だが四人の命はそれ等の何物より尊い。御苦労様。

▼遭難者を早速自宅へ、ひかえて看護された徳田団長外一同の警防魂には頭が下がる。御苦労様。

▼それにしても台風被害が僅少であつたことは嬉しい。このあとの台風もこうして防ぎたい。

▼さて今月は初秋九月。少年少女はさわやかな顔で登校する。若人としよりの日を喜んで待つていただきたい。

たばこは町内で買いましょう
千分の九は町の収入となります

子供の道徳心は家庭の民主化が第一

一の其

これまで行われたいろいろの実験的研究によると、子どもの道徳的判断が最も大きく影響を受けるのは、両親、その中でも母親のそれであり、次いで子供の遊び仲間であるとされています。

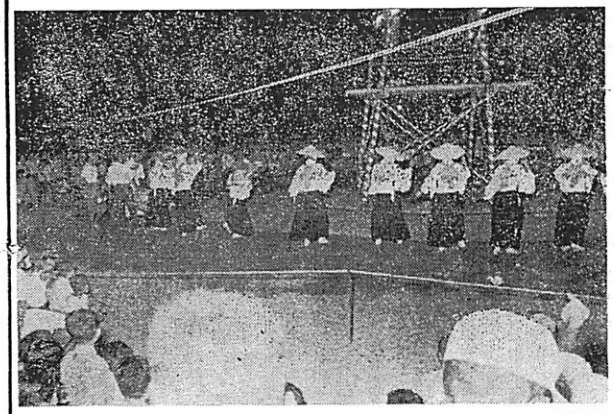
それなのに事実は世の親たちはあまりにも多くのものを先生に期待しているのではないでしょうか。これまでの学校で教えてもらえばそれで充分だという依存的な考え方は改めなければなりません。例えば宿題の用紙に公用の紙を使わせる親の無神経さがいつの間にか子どもに公私の別の観念や正しい道徳心を失わせる結果となります。

子どもたちが正しい道徳心を培い、それに基いて、真っ直ぐな行動をとる一番大切な生活基盤は家庭であり、子どもたちの遊び仲間です。なかでも家庭は最も身近な生活環境であることはいうまでもありません。それにもかかわらず他人のみに非難の矢を向けるのは全く的はずれといえましょう。子供の正しい道徳心を養うには、できるだけ子供の生活環境やその雰囲気を和やかな民主的なものにし、その中から自律的な判断や良いしつけを身につけさせるようにすることが望ましいのです。

人為的にいろんな雰囲気、例えば、指導者が高いところから一方的に命令する専制的な雰囲気、飛び放れて一切かまわない自由放任、それから指導者が子どもと一緒になって話し合いながら行動する民主的な雰囲気の三つがあるが、結局民主的な雰囲気が子ども達に一番楽面で、積極的で責任ある正しい行動をとらせているようです。

要するに一番大切なことは家庭の民主化で、親たちが本当に家庭の指導者として民主的な和かなふんいきをつくることが、子どもの健全な成長に必要なのです。

これ等の教育には親も素直な心持で彼らの声に耳を傾けてやって自分も彼等の気持になって面倒がらずに根気よくつき合ってやりたいものと思います。



商工会主催の盆踊り大会

阿知須商工会主催の〝蛍供養の盆踊大会〟は八月四日午後八時から、細田地先埋立地で近郷から百数十名の参加、各地自慢の踊演は多数の観衆を、夏の夜の桃源境に誘いこんだ、審査入賞は次のとおり。

一位「エーサ踊り」小郡エーサ踊保存会
二位「京踊り」阿知須郷土民芸踊保存会
三位「白川踊り」阿知須盆踊保存会

【写真は盆踊り大会】

子供会について（三）

教育長　中尾　正一

前回に地区子供会の規約案を御参考に致しましたが、町内三十九の子供会と連絡する必要もありましようし又、町全体として子供会に要望することもありましようから左記の様な協議会が生れました。

阿知須町子供会連絡補導協議会規約

第一条本会は阿知須町子供会連絡補導協議会という

第二条本会は町内子供会の連絡と補導助言にあたるを目的とする

第三条本会の事務所は阿知須教育委員会事務局におく

第四条本会は左を以つて構成する会長（一）副会長（三）協議会員（若干名）幹事（一）顧問（若干名）会長副会長は協議会員の互選とする。

協議会員は、教育長、小中学校長、各校校外指導主任、社会教育委員長、青少年補導協力会長、各学校PTA（育友会親睦会）会長、井関阿知須商婦人会長、連合青年団長之にあたる。

幹事は会長之を委嘱する

顧問は協議会にはかつて会長之を委嘱する。

第五条会長は本会を統理する

副会長は会長を補け会長事故あるときは之を代理する

幹事は会長の命で本会の事務会計にあたる

顧問は本会の諮問に応ずる

第六条本会の経費は公民館団体育成費寄付金を以つて之にあてる

第七条本会の年度は四月一日より翌年三月三十一日にいたる

第八条本規約の改廃は協議会の決議による

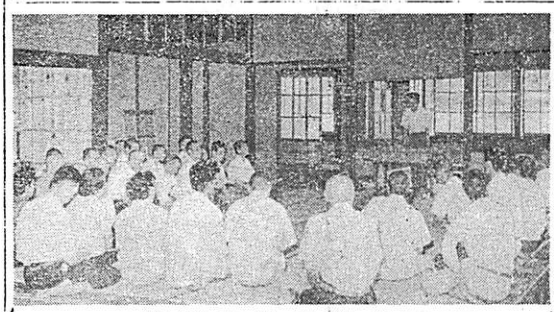
以上子供会の概要についてのべましたが子供会が生れて一カ年、その足どりはまちまちでありますが各区の方々の絶大な御後援御指導で、堅実に向上の歩みを続けていますこと、を大変よろこびとするとともに、各学校でも大切な教育の一環として力を入れて下さっていますことを多謝いたします、今後とも血と土地につながったこの子供会、この上ともお願い致します

終りに子供会についての不審な点や御意見を遠慮なく申出下さって町民一丸の力で可愛い子供の幸福を祈りましよう。

夏休みの社会学

よい子達の清掃作業

永い夏休みも半ばすぎた八月十九日、寺河内区の子供会は『保護者』と「ハエ」を『蚊』と「ハエ」をなくしよう』と申合せ、毎月四年生以上で消毒清掃班を編成し名班に分れて部落の下水、便所等の清掃作業や消毒を行うことを申合せた。父兄側も生きた社会学を習得できるものと期待されている。



漁業会館の落成式

阿知須漁業組合では阿知須校北側老朽校舎の払下げをうけ、会館を建設中であつたが、この程完成、八月十六日午後一時から関係者多数を招き落成式を挙行した。

剣友会だより

阿知須町剣友会役員は

会長　藤田康一、副会長　小池文雄、幹事　大浜昭二、片山伸幸、連絡、吉村惠治の諸氏で、会員は本町有段者や一般の同好者多数により、毎週水、土曜午後八時から阿小校講堂で稽古をはげんでいます。

本会では町内大会を十一月頃に開催する予定で、少年組、一般の部落対抗を対象としております。何分にも防具が少ないので思うように出来ませんので、町内で遊休防具をお持ちの方は、本会で買上げ又は御寄附を呼びかけています。

赤い羽根に問う

来月は〝赤い羽根〟のシーズン共同募金の月である。共同募金の必要性はすでに万人承知であるはずだが、知っているようで知られていない。だから日本の共同募金は伸びない。

と同時に、いつまでたっても共同募金が必要とされるのであろう。お互いは福祉国家建設を望めば共同募金の歌がもっと歌われて欲しいのである。

押賣りは……どうして防ぐか……

阿知須警部補派出所長

最近押売りが非常に増えて、その方法も巧妙になっておりますが押売常習者が、左の通り暗る被害防止のあれこれを、町民の皆様にお知らせしてこの種の事犯防止の参考に供したいと思います。

記

第一にこんなところは注意する。

❶家族が居りながら出入口に戸締をしている家
❷防犯モデル地区などの看板や表示のある地域にはいかない。
❸警察官の取調べを受けるとその附近を廻る気がしなくなる。
❹玄関から訪れると家人が裏から出てきて外で断られると帰るより仕方がない。

第二に狙いにくい家

❶押売りはお断りなどのビラの貼ってある家
❷犬を飼っている家

第三に断り方のコツ

❶最初から要らないとはっきり断り相手にとりつくしまのないようにする。
❷品物を拡げない前に断る
❸品物が揃っていることを告げて隣ぐ隣近所の者と一緒になって断る。

第四こんな場合はつけこまれて買わされ易いから御注意のこと。

（イ）若い女の人は正直で主人が不在で返品か要らないか判らないなどと本当の事を言ってくれるので都合よくねばれば買ってくれる。

（ロ）品物を見てから要らないと言う人には売りつけやすい。

（ハ）子供などと一緒に出てきたときは子供の相手になると大低買ってくれる。

（ニ）老人が留守番をしているときには必ず買わすことが出来る

（ホ）さきに身分証明書をみせるとこれを信用して大低売りつけることが出来る。

以上は押売業者が語る押し売りの予防法です。

先ず押売の被害防止は品物を拡げる前に断ることが大切です。

寄附二件

一金壱千円也
大阪市南久太郎町大和ビル二階
宇部興産（株）大阪出張所
中村　健造殿

町広報の切手料として寄附された

一金壱千円也
広島市己斐町鉄道宿舎
藤重　真作殿

町広報の切手代として寄附された

新刊図書

（公民館図書部）

書名	作者
年刊現代詩集	現代詩人会編
事務事典	経済事務研究会編
写真映画百年史	菅見恒夫
ドレメ式洋裁	杉野芳子
続ドレメ式洋裁	杉野芳子
愛国の真理	野依秀市
成吉思汗	桜本拾三
仕事に成功する秘訣	ドナルドAレアード新井譲二訳
子供の才能のばし方	伏見猛彌
童謡寸前	御手洗辰雄 野依秀市
私のハリキリ健康法	石橋正二郎
遺伝の科学	篠遠喜人
家庭薬局	寺田文次郎
ブラウスとスカートの作り方	原田　茂
年刊戯曲	日本演劇協会
仏教賛歌全集一巻	福山　秀賢
仏教賛歌全集二巻	福山　秀賢
帝王と墓と民衆	三笠宮崇仁
寂しき夜の出来事	高木貞二郎
おけらの歌	宇野　信夫
放浪日記	山下　清
落第読本	辰野　隆
白鳥	フェレンツモルナール
続みんなが見ている前で	藤原　審爾
いのちへの願い	丸岡　秀子
浪人ぐらし	唐島基智三
一軍国主義者の直言	中山正男
戦艦武蔵の死斗	佐藤　太郎
粋典	日置昌一
わたしは明日泣こう	リーアンロス著 大久保康雄訳
第一本	十返肇
相馬大作	中沢巷夫
ミスニッポン	開高健
あほかいな	大石コシヒ
あなかしこ	竹村文祥
続あなかしこ	竹村文祥
夕すげ	由起しげ子
世間胸算用	織田作之助
祖国愛	今村均
シーザー	渡辺啓助
昭和大蒙古の行方	菅原通済
続録大蒙古の行方	菅原通済
奇妙な骨春	堀田善衛
馬鳴夫人	伊藤整
高安犬物語	芦川喜夫
小説物語	クレアキップス 大久保康雄訳
関田艦隊	小柳　富次
現命	加藤　周一
頽廃安兵衛	海音寺潮五郎
無風状人宣言	大宅　壮一
近藤　勇	井上友一郎
銀座繁昌	田村泰次郎
同時代の公学者	寺田　透
カットウケ神十録	山本嘉次郎
女体検診	竹村　文祥
さよなみの日記	毎日新聞社
日本の勝利と悲劇	藤沢委員会
恋愛の盲点	村田　宏雄

感激を胸一ぱい

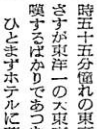
遺児参拝代表歸る

本年第七回靖国神社の遺児参拝は、本町から代表十名が選ばれ七月三十日出発、予定通り八月四日午后十二時五十分、無事参拝の日程を終えて帰郷した。駅頭についた一行十名の顔には感激に満ちた明るい元気な顔で降りたった。

あれから十幾年の歳月と共に、とかく世間から忘れ勝ちで、あたたかな家庭で両親の慈愛に育まれ世にも幸福な子供達が、あの戦禍の日から忽ちにして悲惨な運命の児として明日に変るみじめな思いをして、生活と戦う子となった――だが――これをその子が背負って生れてきたどうにもならない運命なのだ――とすまされることであろうか――冷い風の吹きすさぶ戦後の巷に、敗戦の惨苦を最も軽く背負わされた母子が、あの苦悩のドン底から戦いぬいて、ひたすら父に逢える日をどんなに待ったことか父恋しさに母子が抱き合って泣いたことか。

今こそ多くの友達と夢に描いた父に逢えた――その感激を――

靖国の感激



阿中校三年　大門亮二

七月三十日、僕達遺児代表十名は、遺族会長や先生方多数に見送られて阿知須を出発靖国神社参拝の旅についた。明日は夢にまで見たなつかしい父との対面ができると思うと、列車の進行がもどかしく心はまだ見ぬ靖国神社の想像にふけっていた。同じように御国に命を捧げた父を持つ多くの友達の心も同じだろう。翌三十一日午前十時五十五分懐れの東京駅についたさすが東洋一の大東京駅はただ驚嘆するばかりであった。

ひとまずホテルに落着き身も心も清めてバスで神社に到着した。これから本殿にむかい長い参道の玉砂利を一歩一歩踏みしめながら昇殿した。大鏡の前に進んだとき この中にお父さんが祀ってあるのだと思うと身が引きしまるのを覚えた。

思わず「お父さん―」と心の中で叫んで「とうとうお父さんのところにやってきました。僕はこの目が来るのをどんなにか待ったことか知れません―」おつとめつめる清い祭壇に父が「亮二よく来たね、すい分大きくなったなあ―」と言うような声が耳の底をうつ気持がした。僕は静かに默禱をした胸をしめつけられる思いがして涙が溢れ出る中から、「お父さん亮二はこんなに大きくなりました。弟も中学一年です、私も弟もお父さんの顔を知らない頃でした。お母さんやおばさん達のお蔭で敗戦後の苦しみも感ずず成長してきました。安心して下さい」と心の中で報告しながら、これが本当に生きている父に面会して話すのだったら、どんなに嬉しいだろうと思ったら、こらえていた涙が流れ出てついに声を出して泣いた。生れてから父の前で泣くことができなかった僕は今日面会して思いきり泣くことが出来たのだ。

ハッと我にかえり静かな所の中に離れの口からも嗚咽がもれていた。いよいよお別れの時間がきた最後に

「帰郷したらこの感激を親にも話してやり、一層勉学に励みお父さんにまけない立派な人となります、どうか安心してこの社で眠っていて下さい」

と別れを告げて名残おしき本殿を出たところで宮司さんから

「皆さんのお父さんは御国の神として祀られているのだから、その神を恥しめないように頑張って下さい」と

言われて僕は心に誓った。今度来るときは弟もぜひつれてきますと約束して神社を後にした。翌日から日光、都内見学、帰途は京都市内見物をさせてもらい、長い旅行に一人の病人もなく元気一ぱいですごすことができたことを有難く思っている。

戦争がなかったらこんなに多くの友達のお父さんを無くすることはなかったに、と思い二度と僕達のような遺児をつくる戦争の無いよう世界平和を念じ、そしてこの度の参拝について色々御心配下さった皆様に感謝しながら帰郷した。

靖国の感激

阿中校三年　西田玲子

昭和三十一年七月三十日、この日は、私達にとって一生忘れることのできない靖国神社参拝の記念日です。

夢に見、瞼に描いた懐しい父に逢うことができる、お父様は玲子が靖国神社へ逢うことを聞かれたら、どんなにか嬉かれ喜ばれることでしょう。私もお父様に対面できると思うと、うれしくてなりません、でも悲しいことに大鏡の前に立ったときは、お父様らしい姿は浮んできませんでした。私は一目でもお父様の姿がみたかったのです。私の頭の中にはお父様の面影はぼんやりしたものだけで、写真で見るお父様とかわからないのが残念です。

お父様だって私の小さい頃のことしかおわかりにならないでしょう。でも今日こんなに成長した姿を見て褒められたことと思います私は「一生懸命に努力して、靖国の父の子として恥しくない、世の中の役立つ人となります」と誓いました。そのときお父様は「しっかりやれよ―その気持をわすれずに―」と耳もとにやさしく囁えてきたようでした。

私は父をなくした淋しさや悲しみも、吹き飛んで父の死をむだにしてはいけない、今日まで私を育てて下さった先生、私を力付けてはげまして下さった方々の御親切に対し、その御恩返しのできる立派な人となろうと英霊の前で私は誓いました。

今日靖国神社へ参拝できたことを心から感謝しつつ名残り惜しき神殿を後にしました。それから皇居拝観、国会議事堂、都内見学、京都等を見学させていただき、大変うれしく思いました。

これもみな遺族会や町長さんのおかげだと深く感謝致します。

細田地区の合同　慰霊盆踊大会

細田青年団は八月十八日夕刻から細田全区の戦没者並に一般精霊の合同慰霊盆踊大会を催した。この日は各戸から位牌が持出され会場の祭壇に祀られて懐しい郷土民謡で霊魂をなぐさめた。

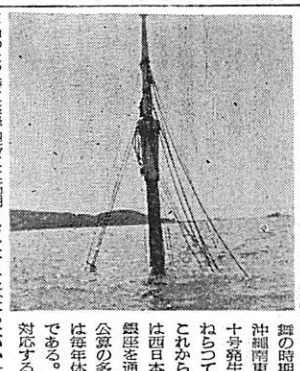
台風9号

歩度ゆるめて大暴れ

今から来るのが本物

今年もまた招ねざる客台風が早くもお目見得した。八月十六日夕刻から同十七日朝にかけ、台風九号は速度をゆつくり九州西北部から山口県の銀座裏街道へ通りぬけた。

本町では万一に備えて十六日午后八時から細田助役の指揮下に役場職員、青年団の協力を得て警戒体制を強め消防団本部も午后六時三十分非常召集を行い徹夜で警防



に当った。特に海岸地帯には高潮の襲来にそなえて刻々入る情報を収録、広報車で警戒広報活動を開始、午后十時停電となるや無線ラジオによりニュースをキャッチ、これにより万全の警戒陣を布いたのである。

十六日の夕刻から十七日の午前中にわたり吹き荒れた足踏み台風ではあったが、幸いに高潮の被害を免れ一部には家屋、漁舟等に被害はあったが、全般的に災害が僅少であったことは不幸中の幸いであった。いよいよ本物の二百十日の風の到来の時期となり沖縄南東に台風十号発生本土をねらっている。これからの台風は西日本の台風銀座を通過する公算の多いことは毎年体験ずみである。これに対応する心構えをしなくてはならない、それには災害対策の事前措置として特に大切なことは。

❶気象情報を早く確実に知ること

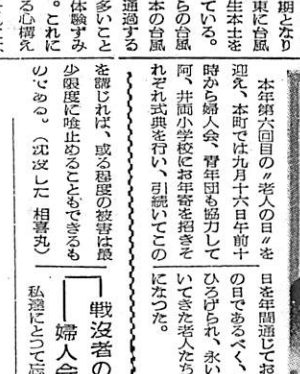
❷河川堤防の危険状態を早く知り警戒水位までできたら早く役場に通報すること、堤防河川の異常増水による危険地帯の家屋には、何時でも避難出来る態勢を整えておくこと。

とかく傷停を頼みにしたり、恐れすぎて投げやりにすることは禁物で、万全を期してこれ等の対策を講じれば、或る程度の被害は最少限度に唯止めることもできるものである。（沈没した　相喜丸）

一瞬!!激浪に巻込まれる

父子四名危く命拾い

台風九号の進路の判断がつかない八月十五日、愛媛県新居浜港を出港した新居浜海運株式会社所属の機帆船相喜丸（七九屯）の乗船員船長保千繁吉さん（五五才）長男明（三五才）次男守男（二二才）三男昇三（一九才）さんの四名は、八幡製鉄所行きの硫粉二百トンを満積して航行中台風に遭遇、本町沖合視界相母石東北方五百米附近に避難したところ、十七日午前七時風浪のため横浪にあ



られてアッと言う間に沈没した。四名は船体と一緒に海底深く巻きこまれたが、やっと浮き上り荒れ狂う大浪にもまれて、別れ別れになり次男守男さんが新地に漂着した旨、佐山消防団からの急報と同時に、あと三名の消息捜索方の依頼をうけ、直ちに警察に連絡、本町消防団本部の手により捜索の結果、沖浦海岸に繁吉、昇三さんの両名を発見、残る明さんの安否が危ぶまれていたが、山口市二島海岸に漂着していることが判明、午後四時奇跡的に命拾いをした父子四名は、ここに奇しき無事本町役場にて手を握り合うことができた。

ようやく落付いた繁吉さんは「本当に夢のようです、アッと思う間に船もろとも海底に巻きこまれ、浮き上ったときは大波のために姿を見失ってしまいました。だけどみんなこうして生きていてこんなうれしいことはありません。これもみな皆さんの温いお情けのお陰です」と感謝をこめて語った

なお身柄は徳田団長の申出で自宅に預ることになり、町では関係各所に電信連絡をとった。

敬老慰安の日は

九月十六日です

本年第六回目の"老人の日"を迎え、本町では九月十六日午前十時から婦人会、青年団も協力して阿、井両小学校にお年寄を招きそれぞれ式典を行い、引続いてこの日を年間通じてお年寄の一番長良の日であるべく、敬安の行事が繰ひろげられ、永い人生の旅路を歩いてきた老人たちを敬め労ることになった。

「戦没者の慰霊に―婦人会の温情」

私達にとって忘れることのできない、あの痛ましい戦争でなくなられた御霊に対し、せめてお盆にかりとも、と井関婦人会では各家族に御燈明（ローソク）を御供えして英霊を慰め、阿知須婦人会は遺族会に一金三千円也を託して、遺族への行事の足しにと寄出されたとかく世間から戦争の痛ましい犠牲者への関心が薄れてゆく今日この頃、両婦人会の温い思いやりには、誰れもが胸のとした明るい気分がただよっている。

『ばつかり』食に　気をつけよう

こんな病気に罹りやすい

茹子の時節には茹子ばかり、南瓜の季節には南瓜ばかりで暮れても南瓜ばかり…　こんな一方的な食事をつづけていると

❶日米だけたべていると足がなんだかだるくて脚気ぎみになる。

❷骨野菜や魚類が不足すると貧血を起こすやすい、元気がない

❸動物性食品をたべないと

❹魚類や骨野菜が不足すると母乳分泌不良になる

殊に農家の方は農繁期には過重労働の上に、人手不足で献立にも手が回りかねて偏食勝ちとなりやすいから、体力の消耗にバランスのとれた食物にしなくてはなりません。

口がかわいて横がさけてくる

至言

◆生活は、われわれのうちにある柔かいものを固くし、固いものを柔かくする。

◆人は自分でどういうわけか判らないで嬉しいときが、本当に嬉しいときなのである。

◆人間は、自分のやったことを取り返えそうとする努力をしてみるまでは、自分にどんなことが出来るかは知ることはできない。

◆たしかに婦人には男子のすることは何んでもする権利はある。が男子にはない。

不連続線（4）

▼本年も「としよりの日」が「老人福祉週間」が巡り来た。老人は一家の礎石、郷党の長老として今日の社会を築いた人々であり、現在なおその社会を構成する大切な人達である。

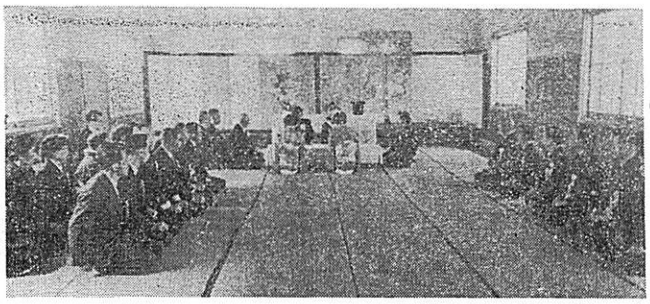
▼老人にとってこの目が年間を通じて一番長良の日であると言う言葉を聞くが、その長を返せば、としよりに「たそがれ」の感を抱かせる無無を、現代人は多分に内蔵していることを思わせるのである。

▼年寄に対してその功績と敬愛の心を持たないで、明るい民主社会は建設されないと同時に年寄自らもまたその本分を自覚し、進んで新しい時代への協調と奉仕を心掛けるべきである。

▼また国家は年寄に対し、慰法の精神に従い、速やかにその生活を保障する制度を確立しなければならぬ、「としよりの日」「老人の福祉週間」はこうした趣旨から、国民運動として強力に展開されることが望まれているのである。

◇…　…◇

先づ吉敷郡内から
結婚改善の『のろし』上る



理想的な結婚風習を作り、生活の改善をはかつて住みよい社会を作るために、左記の「申合事項」を協定しました。何卒御賛同下さいまして、視野を大きくまづ吉敷郡内から社会改善の「のろし」が高々とあげられるよう、皆さんの御協力をお願い致します。

吉敷郡結婚改善申合事項

一、帯代　袴代は原則として全廃する。やむを得ない場合は一万円以内とお返しはしない

二、式は公民館で行うことを原則とし、自宅で挙式する場合も公民館式を適用する。

三、挙式はなるべく日中に行い、参列者は近親者その他最少限度に止め、時間は披露宴を含めて三時間以内を標準とする

四、参列者の服装はなるべく平服とする

五、新婦の式服は新調せず、貸衣裳を利用する

六、饗応品は展示しない（飾らない）

七、披露宴は、本膳を用いず酒を含めて一人前五百円以内とする

八、お土産物引出物は廃止する

九、近所、部落の挨拶廻りは出来るだけ簡素にする

十、入籍の手続は速かにする

十一、成可く健康診断書を取り交す

昭和三十一年九月

吉敷郡町村長会
吉敷郡町村教育委員会
吉敷郡連合婦人会

岩倉驛に待合室が
近日着工の見込み

一日平均六百人の乗降者をはき出す岩倉駅は、二十八年八月十五日から停車を始め、ひとしく地区民から感謝されてきたが、悲しいことには待合室がないため、寒暑風雨、老人婦女子には、非常に不便と難渋をしてきたが、地区民の要望によりこのたび、本町から国鉄当局に折衝願の結果、近くこれが工事着工の通知を受け、近日中に待望の待合室が出来る日も間もあるまい。

逞しき美の祭典
吉敷郡体育大会の幕ひらく
阿連青軍堂々優勝

吉敷郡連合青年団主催の郡下五力町村七団体からなる、県体予選陸上体育大会は、参加選手四百名を網羅し、八月二十六日午前九時から、初秋の風爽やかな青空のもと、阿中校グラウンドで開幕。

まず野村郡連青団長の開会の辞に引続き、昨年優勝小郡チームから優勝旗返還、中尾顧問の祝辞、選手代表林勝美君の力強い宣誓があり、最後に防長青年団歌の合唱に意気昂揚、いよいよ若き体力の祭典の幕は開かれた。

若き情熱と逞しい迫力をもつ青年のアイトは燃え上り、十五種目からなる競技に、終始活気溢れるプログラムが展開され、今秋の優勝チームは地元阿知須青年に輝き、野村団長から優勝旗授与があり、中尾教育長の発声で歌があがり、

第七回近郷中学校野球大会は、八月十二日午前九時から、阿中グランドに近郷中学校八チームが参加、学生、一般女と観衆千数百名が見守る中に熱戦を展開、一回戦は阿知須、西岐波、鴻南、常盤と順調に勝ち進み、二回戦で阿中対四岐波の対戦は山口市大会で優勝を得て自信をつけた阿中が7対0と四中を軽くシャットアウトし、一方、鴻南、常盤は実力伯仲の対戦となり、二点を先取した常盤がそのまま押切り鴻南を破つた。

優勝戦は午後四時常盤の先攻で開始、一回裏阿知須の攻撃はすさまじく岡村、大谷と連続安打、藤野四球と無死満塁の好期をむかえ、四番山崎、左腹手左を破る満塁ホームランで四点を先取、五回にも三番藤野のホームランで二点を追加、計六点をあげた。これに対し常盤は山崎投手の好投にはばまれ、わずかに二回阿知須内野陣の不手際なプレーにより二点をあげたにすぎず、ついに6A対2と阿中多年の宿願はこゝに達成された。【写真は打棒火を吐く阿中四回裏の攻撃】

◇一炎天下に若人の球宴—◇
榮冠阿中チームに輝く

競技種目別得点表（団体）

一、男子百米、阿知須、弘中正為（一一秒九）
一、女子百米、鮏鐵司、道中一子（一五秒二）
一、俵かつぎ、阿知須、福増博人（一六秒二）
一、千五百米　阿知須、釈野明良（四分三六秒四）
一、一万米　仁保、堀山文生（三四分五五秒）
一、ソフトボール　鮏鐵司、長広忠光（七四米）
一、四百米　小郡、山見誠二郎（五七秒一）
一、八百米競走（男女）小郡
一、走巾跳　男　小郡、井本舞邦（五米五二）
〃　女　鮏鐵司、高瀬朝子（三米九三）
一、走高跳　男　仁保、北川敏人（一米五五）
〃　女　阿知須、縄重キク（一米一五）
一、硬丸投　男　仁保、渥田常生（一一米九八）
〃　女　仁保、坂井タ九子（七米三六）
一、卓球　秋穂チーム
一、バレーボール　小郡チーム
一、相撲　阿知須チーム
一、柔道　秋穂チーム

宦等阿知須八四点、二等小郡六四点、三等仁保六三点、四等鮏鐵司四九点、五等秋穂三四点、六等大内二四点、七等小鮏二〇点

昨年の優勝チーム小郡を二〇点リードしてこれに続く優勝した。

【写真❶走高跳に保北川君の一米五五のフォーム❷排球の部小郡チームのタッチの瞬間】

第四回あじさい短歌会

☆九月十四日午後七時☆

あじさい第四回短歌会を右の期日に公民館で開催しますから、歌草は各人二首、九月七日までに町教育委員会宛お送り下さい。

なお今回から会費を十円としましたから、当日御持参願います。

初心者の方の入会を歓迎していますから、お誘い合せの上お出で下さい。

第三回短歌会作品

（順不同）

北祝　河野　英子

着換えすと妹を朝床に立たせ居てしばし陽やけの背を撫でやりつ

旦北　益弘　吾一

にほひつつ夜の潮は満ち来たる陽のぬくみある橋に佇つとき

浜　長枝　英雄

乾燥を終えて積まれし葉たばこの放つ匂ひが黒砂糖に似し

飛石　河崎　慈代

水の面に月影ゆらぐ高台の巣し我見らとよいのかたらひ

鴨生原　沢田とし子

友を待ちてすでに久しも金魚売りの水にネオンのゆれそめにけり

浜　宮重かめ子

新聞に家の一字のにじむ程のしづく落ちたり吾が髪毛より

北祝　部坂　信子

やわらかく垣根に開く朝顔の数かぞえれば風鈴のなる

北祝　部坂　地情

Cの字を太く描きてさがり居るきゆらりはすでに黄味を帯びたり

鴨生原　河野　浩二

腐めばこそ人の讃辭もとかずして心静かに静臥をつづく

遠山　某

夜おそく七夕立つれば天の川まぶ上にぞきて笹の葉はなる

暗夜なるしじまに出でて聞かむとす蛙の声を村の声とし

「このごろ太陽族と云う言葉がヤツているが、どうも、めいめいの思うことを気兼なく勝手気侭になしとげると云うことちやげな。

へえで、人様のことなどてんで考えんのちやろう。ちやけど、わしはそりや了当り前と思う。わし等が若い頃にや、今頃ほどのびのびとしちよらんちやつた。

チビても下駄を穿いたものはえゝ方で、草履をはいて、コツコツぼーを着て、膝坊子を出して学校へ行つた。学校を出るとカシキになつた。船頭さんに頭を下げ、おこぶ様に気兼をして盆と正月に五円の貯金が出来たら兵隊に取られて貰つた。それを皆ためて三四十円の貯金が出来たら兵隊に取られた。茶色の服、赤い肩の十章がられしうて入つたが、入つてみるとキャンプちゆうのに出かける。

もんで、消灯ラツパがなる時、ケツトンの中で、兵隊さんは可愛やなアー、今宵も又泣くのかよオーつてラツパに合して口の中で云つては大の男が涙に濡れたもんぢやつた。まア所式一切、不自由する新聞を小脇にかゝえて、トツ土曜日になると、女の子を連れてやはりの若い時はてんでも、わし等の若い時とはてんで大違いでの、と云う角、明るい気持で、月月、月給貰つては、その日の暮をのびのび楽しんだりますの親のわしにもようしてくれるどなわしや、太陽のように有難い子供達を、太陽族ちうかて思ちよりましたが、せんきよう、くさつた果実、なんのりくるつた果実、あゝそれそれ、あれを見に子供が連れて行つてくれて、はじめて太陽族ちゆのがわかりました。まアあれが今ハヤリどな。ハヤリちゆもなア、すくすたどな、阿知須にやあねえなもなア、居らんどな、安心へてがえゝ。なんのオ、安心出来んのオ、ほりや困るどな。」

やないかの。わし等のどな子を見てもう、わし等の若い時とはてんで大違いでの、とに角、明るい気持で、月月、月給貰つては、その日の暮をのびのび楽しんだりますの親のわしにもようしてくれるどなわしや、太陽のように有難い子供達を、太陽族ちうかて思ちよりましたが、せんきよう、くさつた果実、なんのりくるつた果実、あゝそれそれ、あれを見に子供が連れて行つてくれて、はじめて太陽族ちゆのがわかりました。まアあれが今ハヤリどな。ハヤリちゆもなア、すくすたどな、阿知須にやあねえなもなア、居らんどな、安心へてがえゝ。なんのオ、安心出来んのオ、ほりや困るどな。」

太陽族

不如寝だらけぢやつた。

それが今頃はどねえかの、自由みますと、ほんにこの頃の若いもなあ天国どな。こねなると中に民主々義ちゆて、わし等の子供達あ有難いことだらけでの、わし等が甲斐性がないきに、どこの子もどの子も学校を出ると宇部の会社に行くどな。えゝ服着て、えゝ靴はいて、へて、えゝ給料を貰つて、阿知須にや一人も居りやアせんぢ

懸賞！
家庭推理作文クイズ

毎年々々、取つても取つても根をたやさない「ヒエ」には農家の方も困つておられます。今年はその「ヒエ」から次のような通知をうけました。

食後のひとときの家内中で適当な文字を入れて作文にしてみましよう。□の中に入れる文字は全部漢字であてはめて下さい。回答用紙は普通郵葉書を用いて書き入れた文字には□で囲んで下さい。

回答応募者にはそれぞれ賞品を進呈致します。

私は去年の『ヒエ』です

私は去年の□□同族の□と一緒に育つていたものを、お□□さんに無残に□の中から□□かれ、田の畔に□られた「ヒエ」です。運よく□□の草の中をもぐり込んで□□りをしていましたが、□□の□□に浮かれて、もとの古巣に逆戻りして□では稲と□□と去年の何百倍かの□□をつけてすくすくと□つています。

よその□□は、去年は□の中に入れられて□□してしまいましたが、私は幸かれ幸かに生きていたため□□も田の中で□□□です。本年も去年と同じ□の□に□られたら、又□□も□□かの□□を連れて学生えゝてきますことを□□します。

私を田の中で□□もの□いにされるのでしたら、□に持つてゆく□□を借りまず□□にしておいたら、毎年□□さないですむ労力がどれだけ□けて□□にそれだけふりむけられることかと□□なから□□しています。